

KEY PLAN

※ アルファベット順に鉄骨建方を行う。

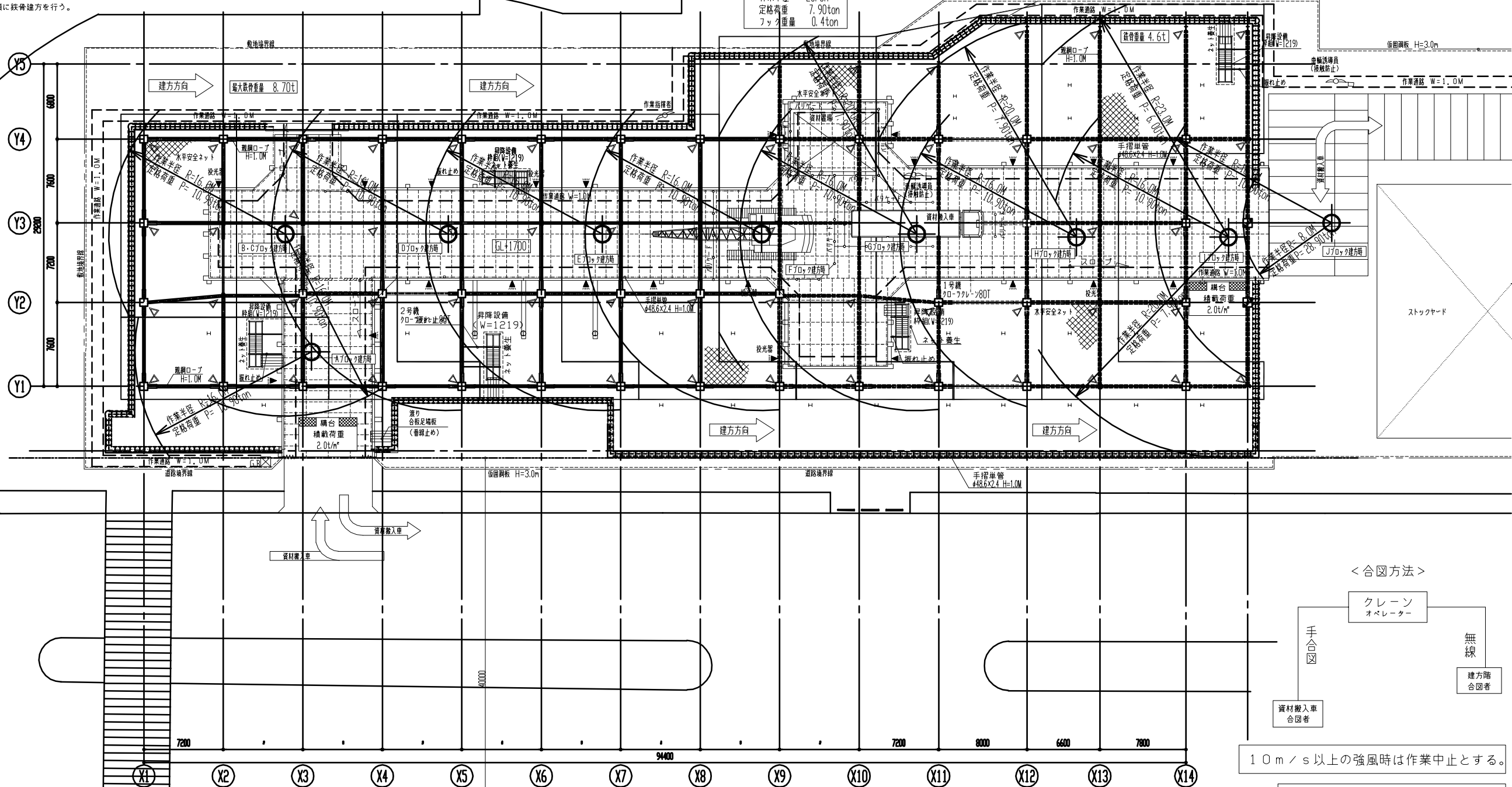
- 建方時注意事項
1. 鉄骨上の作業員は、安全帯を履換もしくはタフップ等に確実に取り付け落下防止とする。
 2. 鉄骨上の作業員道具（フチェット・ハンマー等）は紐付きとし、道具の落下防止とする。
 3. クレーン等の機械周辺にバリケードを設置し立入りを禁止する。
 4. 建方作業中の各ブロックは、立入り禁止としバリケードにて表示をする。
 5. 鉄骨上の作業員と作業指揮者及びクレーンオペレーターとの連絡は無線類により確実に行う。
 6. 建方時のボルトの仮り止めは、設計本数の3分の1以上かつボルト2本以上とする。

ブームの巡回範囲は、敷地内のみとし、隣家上空を巡回しないようにする。

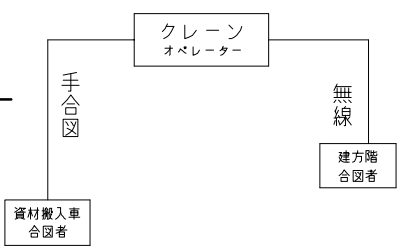
クローラークレーン 80t
33.55mブーム
作業半径 23.0m
定格荷重 6.00ton
フック重量 0.4ton

クローラークレーン 80t
33.55mブーム
作業半径 20.0m
定格荷重 7.90ton
フック重量 0.4ton

クローラークレーン 80t
33.55mブーム
作業半径 16.0m
定格荷重 10.90ton
フック重量 0.4ton



< 合図方法 >



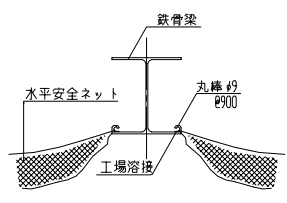
10m/s以上の強風時は作業中止とする。

作業区域内は、立入り禁止とする。

スロープ上に車両を停止する場合は逸走防止装置を行う。

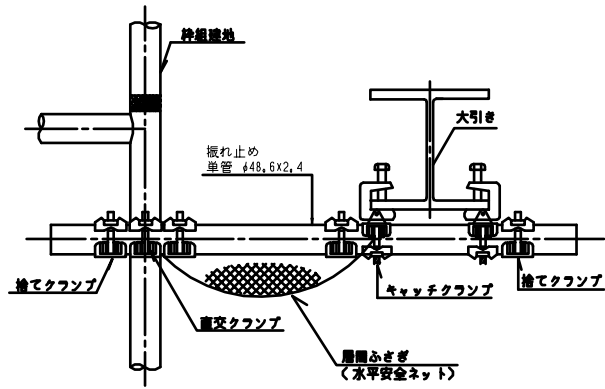
◁ は、タフップ取り付け位置

- 大臣指針によるネットの計算
1. 落下高さ
 $\leq 0.2(L+2A)$
 $0.2 \times (7.0 + 2 \times 7.0) = 4.2\text{m}$ 以下とする。
 2. ネットの垂れ
 $\leq 0.2 \times (L+2A) \div 3$
 $0.2 \times (7.0 + 2 \times 7.0) \div 3 = 1.4\text{m}$ 以下とする。
 3. 下部のあき
 $\geq 0.85 \times (L+3A) \div 4$
 $0.85 \times (7.0 + 3 \times 7.0) \div 4 = 5.95\text{m}$ 以上とする。

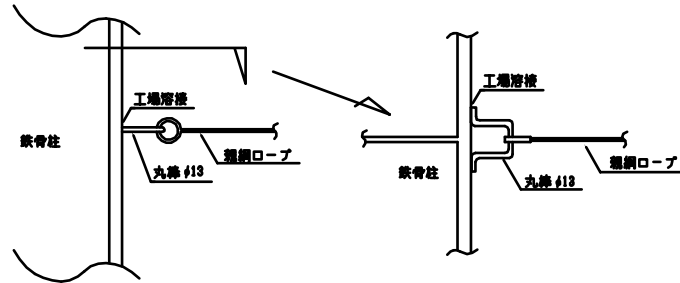


水平安全ネット詳細図 5:1:20

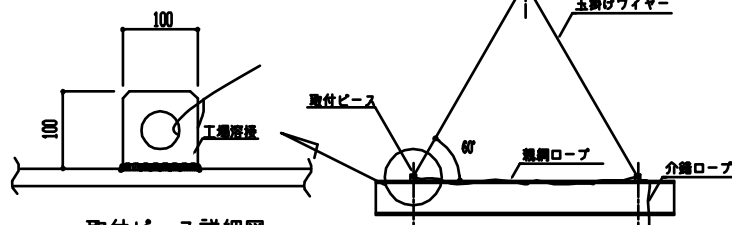
平面図 S:1:200



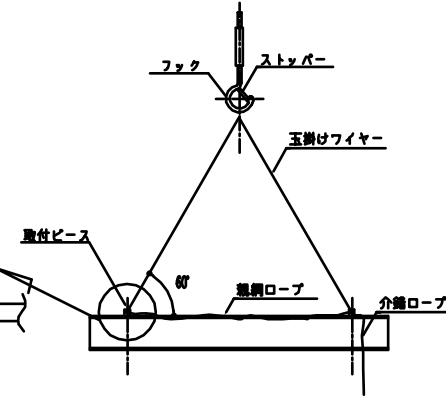
昇降設備振れ止め詳細図



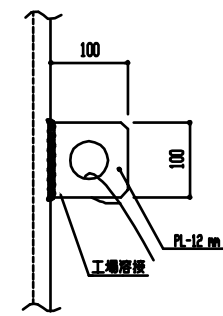
親綱ロープ取付詳細図



取付ピース詳細図

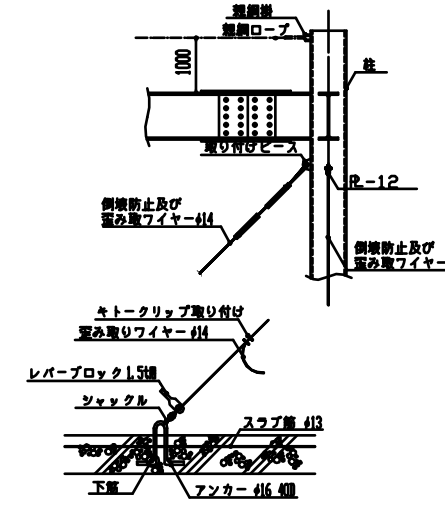


玉掛けワイヤー詳細図



取付ピース詳細図

※本工事の鉄骨は本締め後自立する。従って仮締め中に於ける突風、地震等による倒壊防止は歪み防止ワイヤーで行い本締め後撤去する。

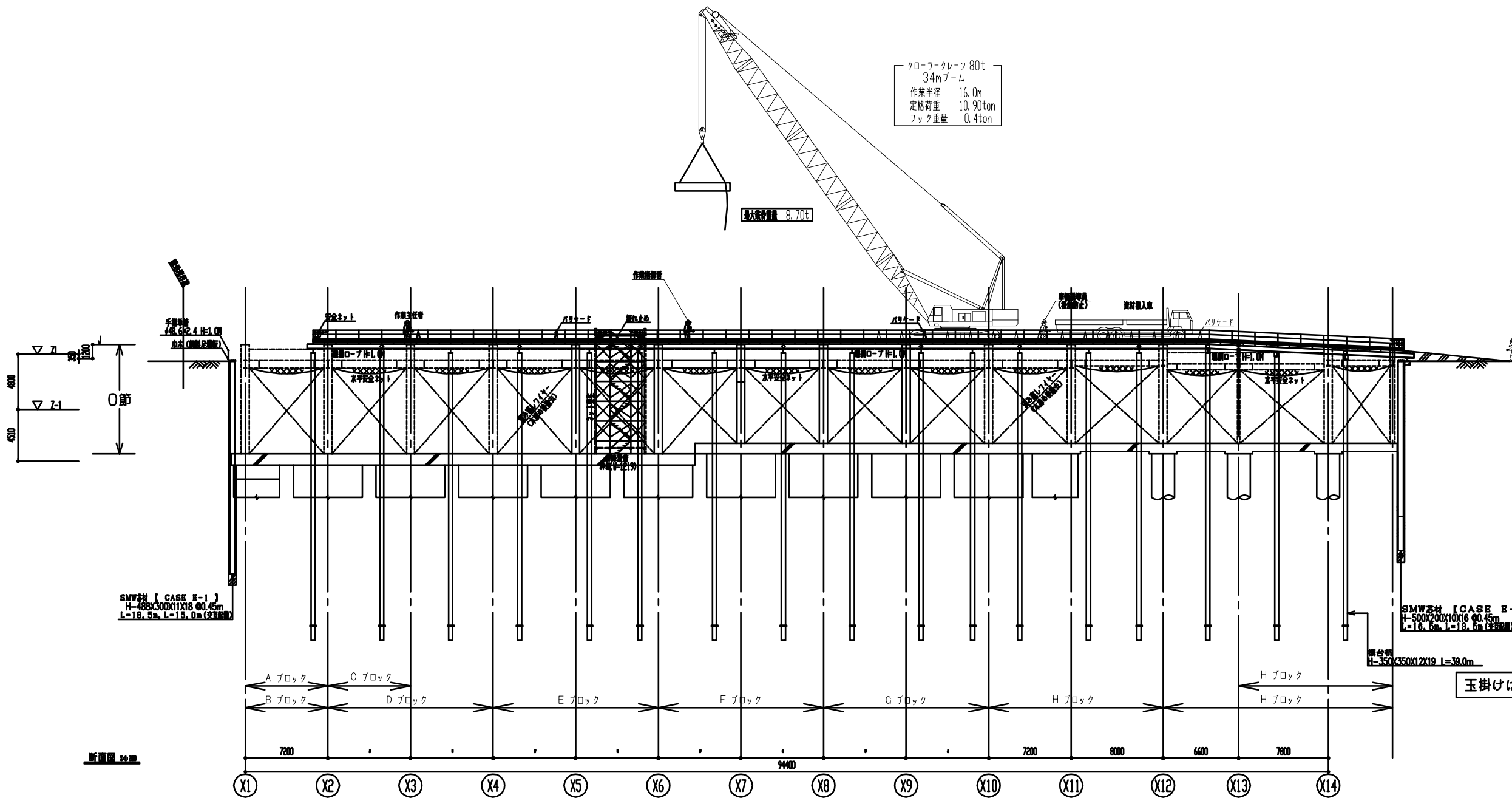


転倒防止用ワイヤー取付詳細図

建方向 →

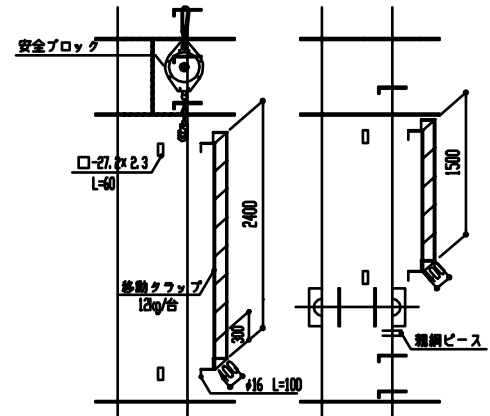
建方向 →

建方向 →



クローラクレーン 80t
34mブーム
作業半径 16.0m
定格荷重 10.90ton
フック重量 0.4ton

最大吊り重量 8.70t



昇降時は、安全ブロック併用とする。

移動クランプ詳細図

- ※ クランプ点検要領
- ① 工場積込時のクランプ溶接の点検。
 - ② 現場荷卸し時のクランプ溶接の点検。

スロープ上に車両を停止する場合は逸走防止装置を行う。

作業区域内は、立入り禁止とする。

10m/s以上の強風時は作業中止とする。

玉掛けは必ず玉掛けワイヤーによる荷の吊降ろしとする。

SMW鋼材【CASE E-1】
H-480X300X11X18 φ0.45m
L=18.5m, L=15.0m (2段組)

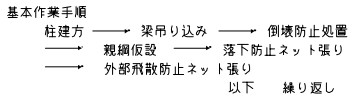
SMW鋼材【CASE E-2】
H-500X200X10X16 φ0.45m
L=18.5m, L=13.5m (2段組)

鋼台鋼材
H=350X350X12X19 L=39.0m

断面図

- 建方時注意事項
1. 鉄骨上の作業員は、安全帯を義務もしくはトラップ等に確実に取り付け落下防止とする。
 2. 鉄骨上の作業員道具（ラチェット・ハンマー等）は紐付きとし、道具の落下防止とする。
 3. クレーン等の機械周辺にバリケードを設置し立入りを禁止する。
 4. 建方作業中の各ブロックは、立入り禁止としバリケードにて表示をする。
 5. 鉄骨上の作業員と作業指揮者及びクレーンオペレーターとの連絡は無線類により確実に行う。
 6. 建方時のボルトの仮り止めは、設計本数の3分の1以上とし、かつボルト2本以上とする。

- は建方方向を示す。
- 10m/s以上の強風時は、作業中止とする。
- ブームの旋回範囲は、敷地内のみとし、隣家上空を旋回しないようにする。
- ▷は、トラップ取付け位置を示す。
- 作業区域内は、関係者以外立入り禁止とする。



- ※トラップ点検要領
- ① 工場積込時のトラップ溶接点検
 - ② 現場荷卸し時のトラップ溶接点検

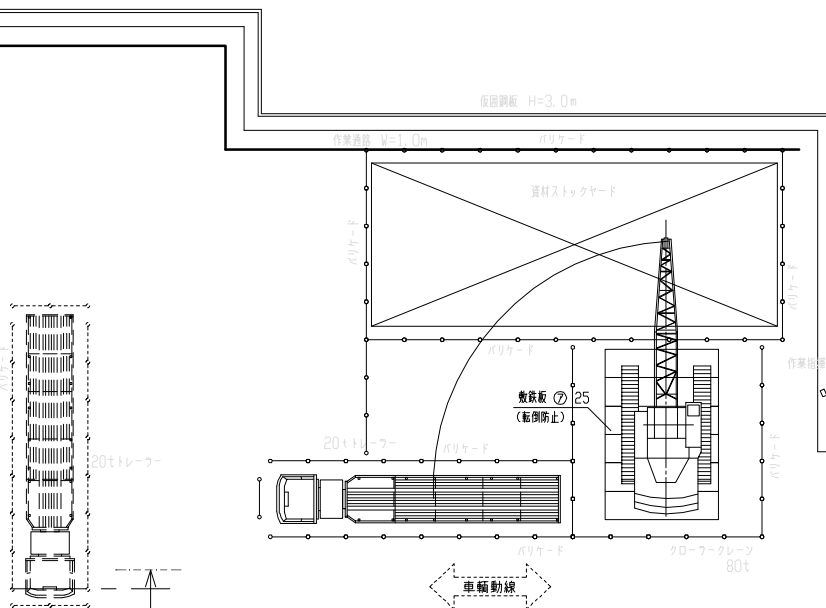
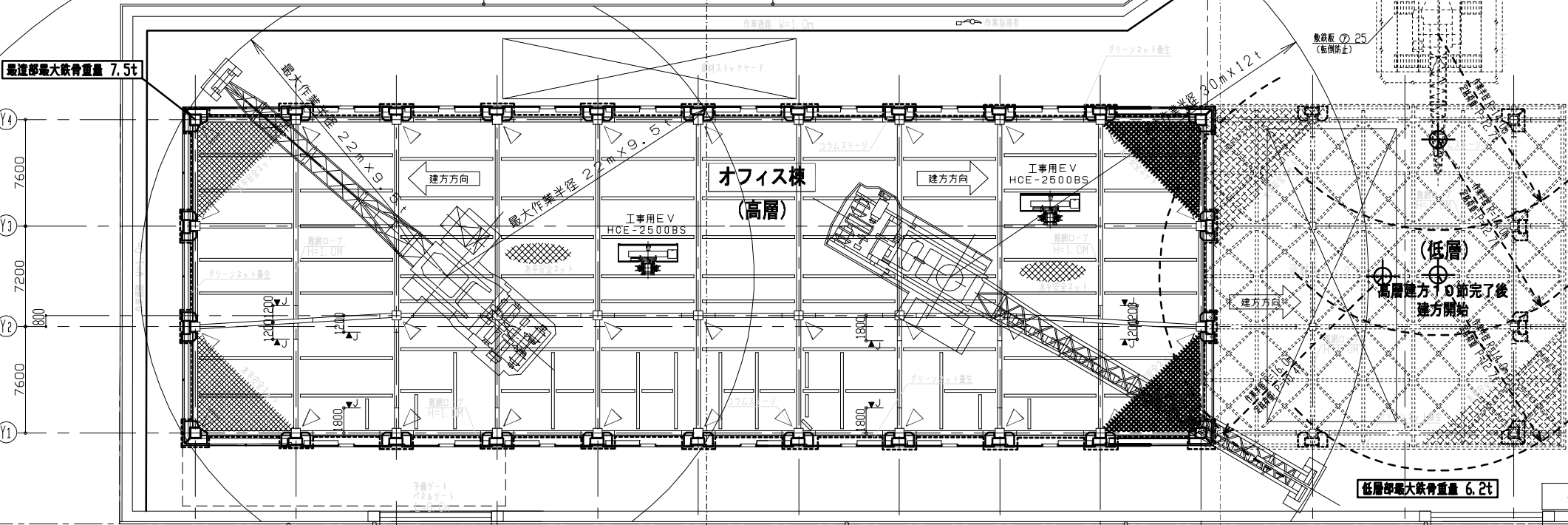
クライミングクレーン
JCC-200H ジブ35m
作業半径 22.0M
定格荷重 9.5TON

クライミングクレーン
JCC-400H ジブ35m
作業半径 30.0M
定格荷重 12.0TON

クローラークレーン
80TON
作業半径 16.0M
ブーム長さ 42.70M
定格荷重 10.4t
フック重量 0.6t

最高部最大鉄骨重量 7.5t

低層部最大鉄骨重量 6.2t



大臣指針によるネットの計算

1. 落下高さ

$$= 0.2(L+2A)$$

$$0.2 \times (5.65 + 2 \times 1.14) = 1.58m$$
 以下とする。
2. ネットの垂れ

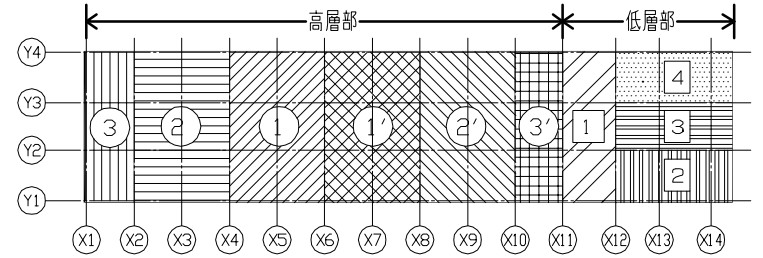
$$= 0.2 \times (L+2A) + 3$$

$$0.2 \times (5.65 + 2 \times 1.14) + 3 = 0.52m$$
 以下とする。
3. 下部のあき

$$= 0.85 \times (L+3A) + 4$$

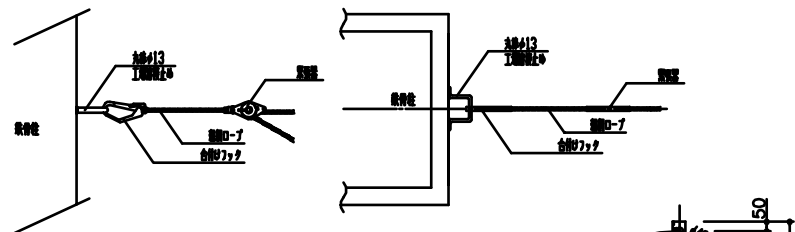
$$0.85 \times (5.65 + 3 \times 1.14) + 4 = 1.92m$$
 以上とする。

L: 最長スパン
A: 自然の垂れ ≤ 0.25

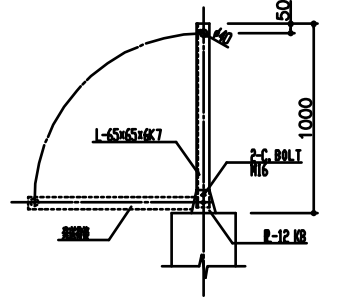


KEYPLAN

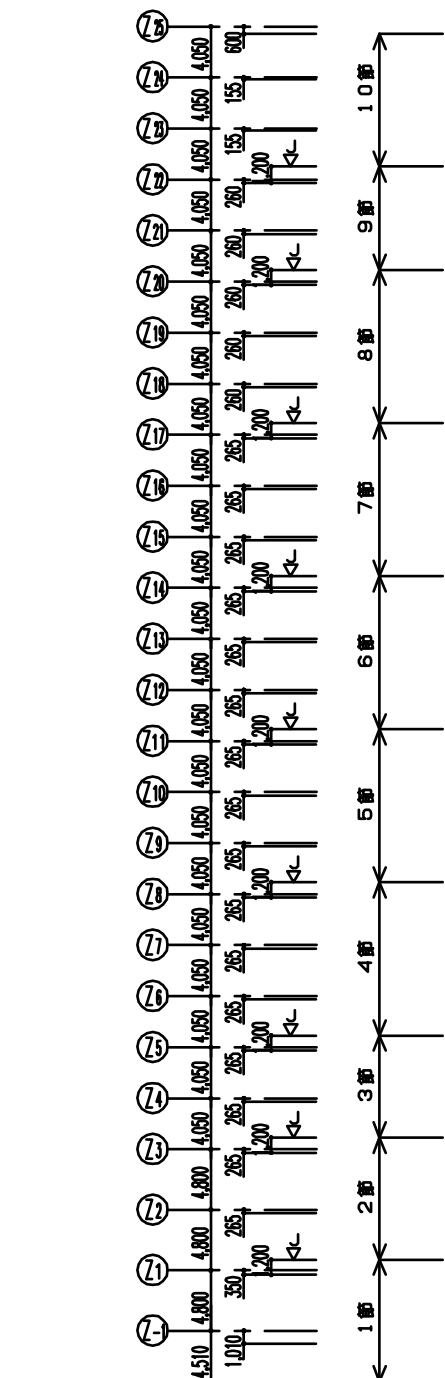
- ※ 番号は建方順序を示す。
- ※ 高層部建方後、低層部建方を行う。
- ※ 低層部はクローラークレーン80tにて建方を行う。



親綱ロープ取付詳細図



最上部親綱支柱詳細図 S=1:20



▽ 第6回クライミング時ベース位置

▽ 第5回クライミング時ベース位置

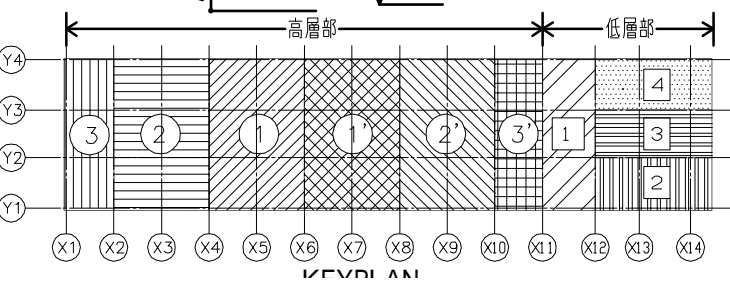
▽ 第4回クライミング時ベース位置

▽ 第3回クライミング時ベース位置

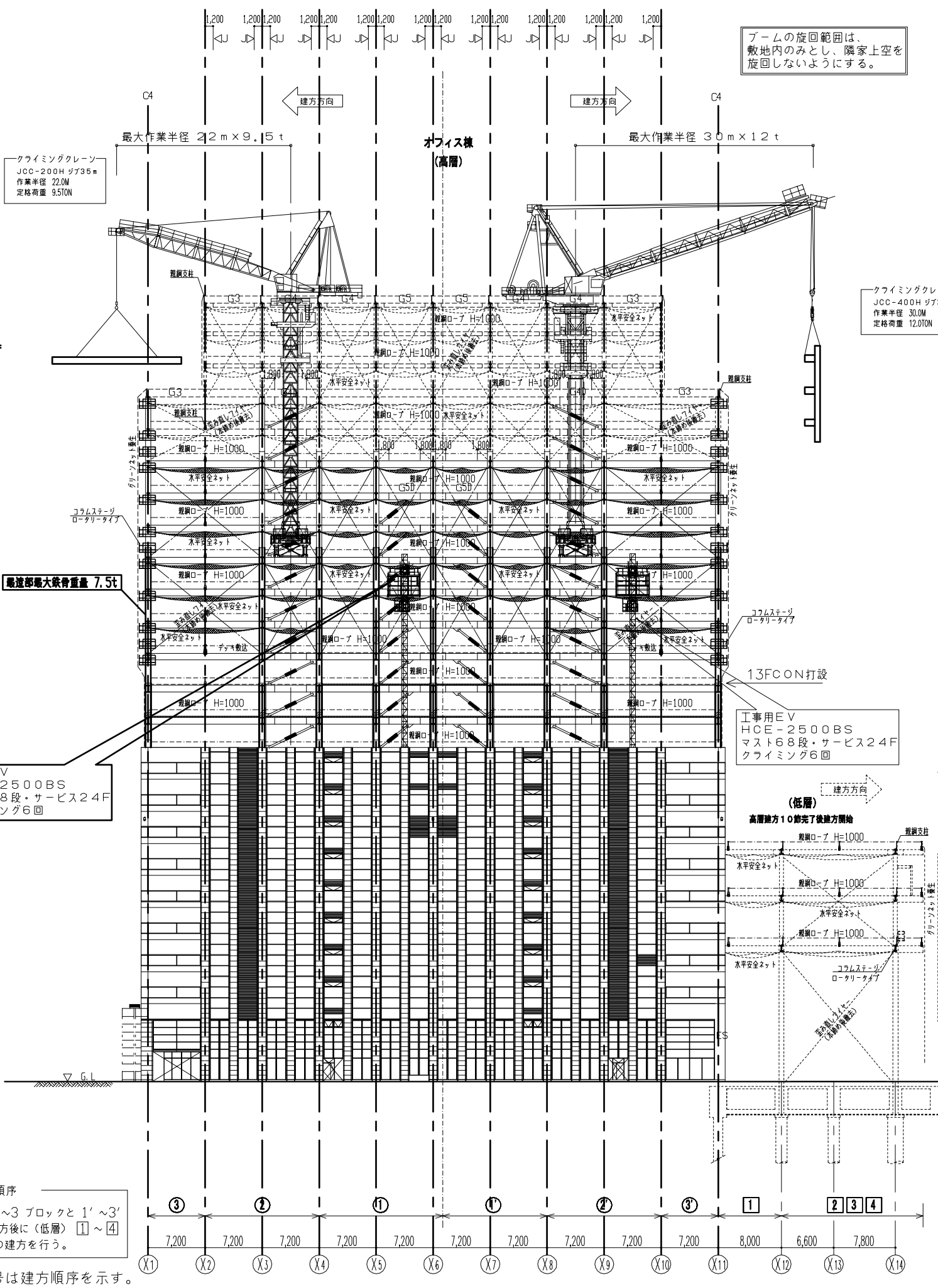
▽ 第2回クライミング時ベース位置

▽ 第1回クライミング時ベース位置

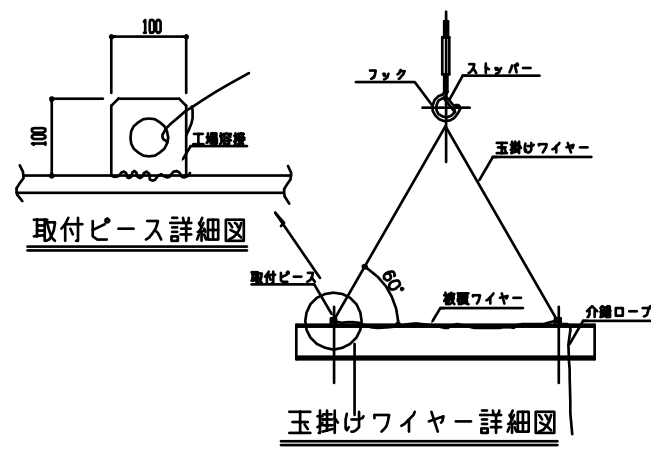
▽ クレーン設置時ベース位置



鉄骨建方順序
 (高層) 1~3ブロックと1'~3'ブロック建方後に(低層) ①~④ブロックの建方を行う。
 ※ 番号は建方順序を示す。
 ※ 高層部建方後、低層部建方を行う。
 ※ 低層部はクローラークレーンにて建方を行う。

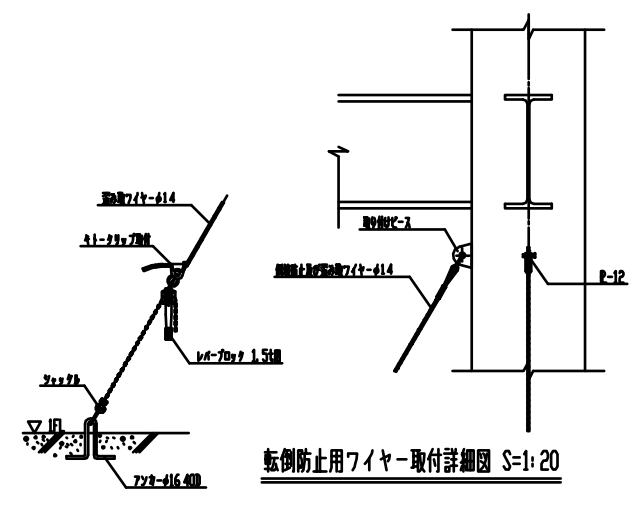


ブームの旋回範囲は、敷地内のみとし、隣家上空を旋回しないようにする。

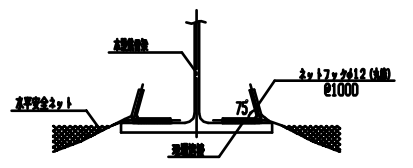


取付ピース詳細図

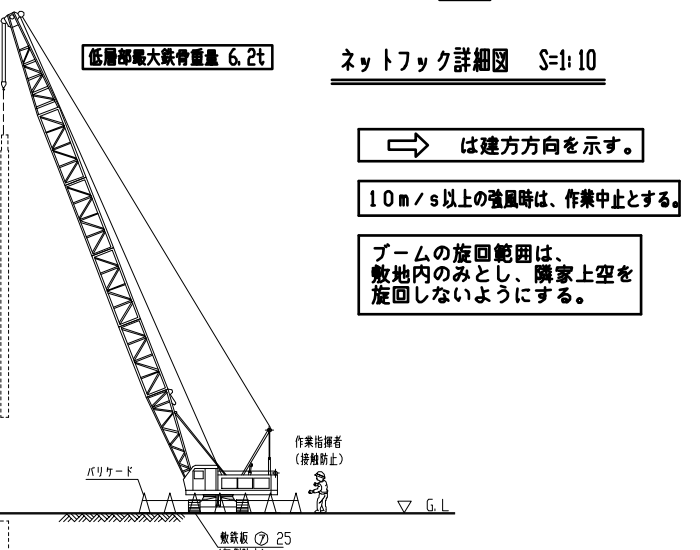
玉掛けワイヤー詳細図



転倒防止用ワイヤー取付詳細図 S=1:20



ネットフック詳細図 S=1:10



クローラークレーン
 80TON
 作業半径 16.0M
 ブーム長さ 42.70M
 定格荷重 10.410N
 フック重量 0.6t

作業区域内は、関係者以外立ち入り禁止とする。

➡ は建方方向を示す。

10m/s以上の強風時は、作業中止とする。

ブームの旋回範囲は、敷地内のみとし、隣家上空を旋回しないようにする。